

印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業
施設整備基本計画検討委員会第9回会議 会議録（概要版）

議 題	施設整備基本計画検討委員会第9回会議
日 時	平成28年1月17日(日)13:00～15:05
場 所	印西地区環境整備事業組合 3階大会議室
出席者	委員：7名（松崎区未選出）、事務局：8名、関係市町：3名、コンサル：3名
配付資料	・第9回会議次第 ・第9回会議資料 ・資料外別添① ・資料外別添② ・参考資料1

主 た る 事 項

1. 開会

(1) 会議録の署名は、原委員、山崎委員が行う。

2. 会議録について（第8回会議）

(1) 概要版を資料外別添①として配布

3. 地域振興検討委員会第8回会議の報告について（主な報告内容）

(1) 施設整備基本計画検討委員会第8回会議の報告において、アクセス道路は1本の前提のように見受けられるが、災害時対応等を考慮すると、2方向以上のルートを確認する必要があるのではないかとの意見があった。

(2) 地域振興関連施設へのアクセス道路は、施設整備側とは別に検討されたいとの意見があったが、現時点では、地域振興策を展開する場所や規模等の具体的な決定がないため、来年度に地元と組合との協議により決めることとなった。

(3) 福川委員長と加藤副委員長から、ご自身が関わられた取り組みや事例の紹介、今後の地域振興策の実現へ向けた考え方が示された。

(4) 地域振興策総合パッケージの展開種別毎の評価について意見を伺い、第9回会議で確認いただく予定

4. 意見書について

(1) 意見書2通の説明・報告

(2) 事業方式検討のライフサイクルコスト試算に使用した建設コストについては、精査する方向で、答申素案の議題で議論する。

5. 煙突高等の未審議事項について

(1) 概略ではあるが、基盤切下げを考慮した排ガスの拡散計算を行った。排ガスの自主規制値は非常に厳しい値であり、環境基準の100分の1程度であることから、基盤切下げにより、煙突高さが10m変化しても着地濃度への影響はわずかであるため、環境への影響はないと考えられる。そのため、煙突高さは59mを基本とし、周辺住民との協議により決定するとしてまとめる。

6. 答申素案について

(1) 答申素案は、本編と資料編の2構成となっている。資料編は、目次構成のみ提示とさせていただく。本編の「はじめに」は空欄となっているが、大迫委員長の挨拶を記載する。

(2) 次期施設では、ごみの出し方は変わるのか。

→ ごみ処理基本計画の改訂の際に、ごみの出し方について変更がある可能性があるが、現段階では同じ出し方と考えている。

(3) プラスチック容器包装類は焼却対象なのか。

→ ごみ処理基本計画の改訂を要するところでもあるが、答申素案では、プラスチック類の焼却も想定した内容となっている。

(4) 「第2章 1-3 各設備計画」 p 39 下水道が整備されるものであればの整備を踏まえた記載にして欲しい。

→ 「第2章 6 ユーティリティ」についても、下水道についての表記を加え、整合を図る。

(5) 「第2章 1-4 安全対策」 p 42 施設としての閉じ込め機能や負圧の維持、物理的障壁について記載して欲しい。

(6) 「第2章 1-5 火災対策」 p 43 リサイクルセンターには、防爆対策の記載があるが、焼却施設にはないので、記載して欲しい。

→ リサイクルセンターにはガスボンベ等が搬入される恐れにより、爆発の可能性が考えられるが、焼却施設には、可燃物が搬入されるため、一般的に火災対策のみで、防爆対策は行わない。

(7) 「第2章 3-2 余熱利用施設への熱供給システムの前提条件」 p 59 前提条件が理解しづらいので、わかりやすく表現してほしい。

(8) 「第2章 4-1-(6) 自主規制値」 p 67、68 水銀の扱いについては注記で触れる必要があると思われる。

(9) 「第2章 7 アクセス道路」 p 89 アクセス道路の説明が必要ではないか。

(10) 「第2章 5-1 災害対策、防災拠点化及び耐震構造」 p 71 にストックヤードの整備についての記載があるため、「第2章 6-7 施設配置」に「駐車場をストックヤードとして利用する」などの記載の追加を検討いただきたい。

(11) 「第2章 6-8 造成計画」 p 84 基盤切下げ 5m切下げと 10m切下げでは価格評価が異なるため、それぞれの評価で記載してほしい。

(12) 「第2章 6-7 施設配置」 p 85 の造成・施設配置計画比較表に、煙突高さによる環境への影響を追記して欲しい。また、p 83 施設配置図の寸法が見えにくい箇所があるため、修正して欲しい。

(13) 「第2章 9-4 環境測定」 p 96 モニタリングポストの例としては一般の方が見やすいところに配置されている。「はだのクリーンセンター」の写真を使っているが、現施設にもモニタリングポストは設置されているため、現施設の写真と差し替える。

(14) 「第3章 5 事業スキーム別ライフサイクルコストの試算」 p 107、108 は事業費として誤解を招くことが危惧されるため、意見書の内容を踏まえて精査し、修正を行う。

(15) 「第3章 事業方式」 p 98 冒頭の説明について違和感があるため、誤解を招かぬよう記載を改める。

(16) 「第4章 2 整備スケジュール」 p 115 埋蔵文化財調査により計画の遅れにつながる恐れはないか。

→ 調査に着手しないことには言い切れないが、現地調査人員を多く配置いただくことで、調査期間の短縮は可能

(17) 「第4章 2 整備スケジュール」 p 115 現施設延命化工事後の稼働期間の明示、次期施設工事発注行為を明示してはどうか。

(18) 「交付要件」、「交付金」、「前計画」などは、正式名称での記載にしてもらいたい。また、地域住民にも理解できる表記にして欲しい。

(19) いずれの項目も、結論と図表だけが示されているところが多く見受けられるが、説明を加える

など構成を工夫して欲しい。

7. その他

- (1) 1月25日まで委員意見・指摘を受け付け、本日会議での意見や指摘事項等を踏まえ修正を行う。
- (2) 2月1～15日までパブリックコメントを受け付ける。関係市町庁舎・出張所、組合で関係資料の閲覧が可能
- (3) 2月6日に建設候補地住民説明会（吉田区、松崎区を対象）実施予定
- (4) 3月6日に検討結果報告会を印西クリーンセンターで実施予定
- (5) 3月13日に第10回検討委員会を開催する。
- (6) 3月30日に答申書提出予定

※傍聴者：20名